

 **Endpoint Manager** Cloud Free

# 初期設定ガイド for iOS/iPadOS

---

An-339 / 第 15 版 / 2023 年 12 月 22 日

**MOTEX**

まえがき .....	2
第 1 章 導入の流れ .....	3
第 2 章 かんたんインストール .....	4
2-1 MDM 証明書を登録する .....	5
2-2 インストール手順と URL を確認する .....	7
2-3 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする .....	10
2-4 グループを設定する .....	15
2-5 管理対象デバイスの情報を編集する .....	21
第 3 章 カスタムインストール .....	28
3-1 MDM 証明書を登録する .....	29
3-2 グループを設定する .....	31
3-3 管理対象デバイスの情報を登録する .....	37
3-4 インストール手順と URL を確認する .....	44
3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする .....	48
こんなときは .....	53
機種変更などでデバイスが変更になった場合 .....	54
トラブルシューティング .....	55

## まえがき

本書は、iOS/iPadOS 向けの初期設定方法について説明します。

### 製品マニュアルラインナップ

---

各種マニュアルラインナップは、次のとおりです。

マニュアルの種類	説明
初期設定ガイド for iOS/iPadOS	iOS/iPadOS 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for Android	Android 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for Windows	Windows 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for macOS	macOS 向けの初期設定手順
利用ガイド	管理コンソールの操作手順
アンインストールガイド	LANSCOPE クライアントのアンインストール手順

#### 用語について

- 断りのない限り、本書の「iOS」は「iOS/iPadOS」の双方を指します。

### お問い合わせ先

---

#### 操作方法／トラブル／販売／お取扱いなど

メールまたは電話でお問い合わせください。

[https://tryweb2.motex.co.jp/contact/cloud\\_support.html](https://tryweb2.motex.co.jp/contact/cloud_support.html)

### 商標・著作権

---

- 本書で使用される各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書に含まれる文章や画像などの著作権は、一部を除き、エムオーテックス株式会社が所有します。
- 本書のすべてまたは一部をエムオーテックス株式会社の許諾なく複製し、頒布その他の行為を行うことはできません。また、本書の内容・構成をエムオーテックス株式会社の許諾なく改変し、改変したものを複製し、頒布その他の行為を行うことはできません。
- 本ソフトウェアの仕様ならびに本書の記載内容は、予告なしに変更することがあります。
- MOTEX はエムオーテックス株式会社の略称です。

## 第 1 章 導入の流れ

LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版 Free で iOS デバイスを管理するために必要なプログラムや利用開始までの流れを説明します。

### デバイス管理に必要な LANSCOPE クライアント

iOS デバイスを管理するときに利用するプログラムを「LANSCOPE クライアント」と呼びます。

iOS デバイスを管理する場合は、次の LANSCOPE クライアントを、必要に応じてデバイスへ配信／インストールする必要があります。

名称	概要
MDM 構成プロファイル <b>必須</b>	エンドポイントマネージャー Free でデバイスを管理するために必要です。

### インストール方法

「かんたんインストール」と「カスタムインストール」の 2 通りの方法があります。インストール方法により、インストールまでの流れや設定方法が異なります。

	かんたんインストール	カスタムインストール
インストール URL	共通のインストール URL を利用し、デバイス側で LANSCOPE クライアントをインストールする	デバイスごとに異なるインストール URL を利用し、デバイス側で LANSCOPE クライアントをインストールする
デバイス管理情報 (*) の紐づけ	紐づけできない (LANSCOPE クライアントをインストールしたあとに登録)	紐づけできる (LANSCOPE クライアントをインストールする前に登録)
メリット	共通のインストール URL を利用するため、簡単にインストールできる	インストール完了後、デバイス使用者の情報と紐づくため、整理された状態で管理できる
デメリット	デバイス使用者の情報と紐づけできないため、あとで登録する必要がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前にデバイス管理情報を登録する必要がある</li> <li>メールを利用できないデバイス使用者がインストールする場合、デバイス使用者へのインストール URL を通知する方法を検討する必要がある</li> </ul>

\* : デバイス管理情報は、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面で、管理者が任意に編集できる項目のことです。

## 第2章 かんたんインストール

かんたんインストール（共通のインストール URL）を利用し、LANSCOPE クライアントをインストールします。

1. [2-1 MDM 証明書を登録する](#) **必須**

iOS/macOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書をエンドポイントマネージャー Free に登録します。

2. [2-2 インストール手順と URL を確認する](#) **必須**

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

3. [2-3 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする](#) **必須**

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

4. [2-4 グループを設定する](#)

デバイスの情報を編集するとき、グループを設定できます。設定するには、事前にグループを作成します。

5. [2-5 管理対象デバイスの情報を編集する](#)

「デバイス管理名」と「使用者名」を、デバイスを特定できる名前に編集します。

## 2-1 MDM 証明書を登録する

**必須**

iOS/macOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書をエンドポイントマネージャー Free に登録します。

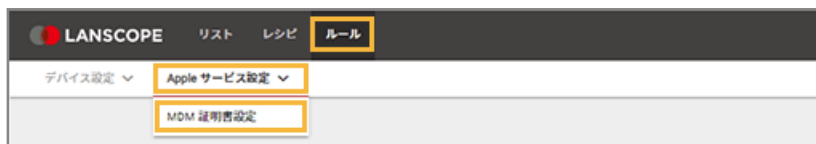
MDM 証明書の有効期限は登録から 1 年で、毎年更新が必要です。

事前に、MDM 証明書をダウンロードするために必要な Apple ID を準備します。

**注意**

MDM 証明書を更新するときにも同じ Apple ID を使用するため、Apple ID を紛失しないように注意してください。紛失などで Apple ID がわからなくなった場合、デバイスに LANSCOPE クライアントの入れ直しが必要になります。

1. **【ルール】 の【Apple サービス設定】 > 【MDM 証明書設定】 をクリックします。**



2. **【MDM 証明書の登録】 をクリックします。**



3. **管理コンソールに記載の手順に従って、MDM 証明書を登録します。**

### MDM 証明書の登録・更新

MDM 証明書は、iOS デバイス または Mac デバイスを LANSCOPE で管理するために必要となる証明書です。  
MDM 証明書の有効期限は登録から1年で、毎年更新が必要です。

**注意事項**  
Apple ID を紛失して MDM 証明書を更新できなくなった場合は、新しい MDM 証明書を登録し、各デバイスに MDM 構成プロファイルを再インストールする必要があります。

- 1 CSR ファイルのダウンロード**

ベンダー署名付きCSRファイルをダウンロードします。  
追加でベンダー署名付き CSR ファイルが必要な場合は、MDM 証明書を保存したあとにダウンロードしてください。

[ダウンロード](#)
- 2 MDM 証明書ファイルの作成 および ダウンロード**

手順1でダウンロードしたベンダー署名付き CSR ファイルを使用し、  
Apple 管理サイト Apple Push Certificates Portal にて MDM 証明書を作成 および ダウンロードします。

[Apple Push Certificates Portal](#)

Apple Push Certificates Portal でのダウンロード手順はこちらをご確認ください。  
[マニュアル](#)
- 3 MDM 証明書ファイルのアップロード**

手順2でダウンロードした MDM 証明書をアップロードします。  
ファイルの読み込みが完了すると、有効期限が表示されます。

[ファイル選択](#)
- 4 有効期限通知メールの設定**

有効期限が切れる前にメールで通知する

計4回（期日の30日前 / 7日前 / 前日 / 当日）設定したメールアドレス宛に送信されます。  
（送信元アドレス：an\_report2@LANSCOPE.onmicrosoft.com）

通知先メールアドレス \*

[テスト送信](#)
- 5 Apple ID や電話番号などの設定**

MDM 証明書を更新するには、登録時に使用した Apple ID が必要です。  
Apple ID や 2 ファクタ認証で使用している電話番号など、メモしておくことをおすすめします。

例) Apple ID : sample@motex.co.jp 電話番号 : 09012345678

**メモ**  
Apple ID : sample@motex.co.jp パスワード : sample123

[閉じる](#) [保存](#)

#### 4. [保存] をクリックします。

→ MDM 証明書の登録が完了します。

## 2-2 インストール手順と URL を確認する

**必須**

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [デバイスの追加] をクリックします。

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用人名	OSタイプ	電話番号	デバイスタイプ	
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-64C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_asapustjp_00000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン

3. [かんたんインストール] をクリックします。





4. [iOS] をクリックし、手順とインストール URL を確認します。



- 管理者が LANSCOPE クライアントをインストールするなど、手元にデバイスがある場合  
画面に表示されている QR コードを読み取ってアクセスできます。
- 手元にデバイスがない場合や、デバイス利用者が LANSCOPE クライアントをインストールする場合  
URL をコピーし、メールで通知したり、ファイルサーバーやポータルサイトなどにアップしたりして、デバイスからアクセスできるようにします。

## 2-3 デバイ스에 LANSCOPE ク라이언트를インストールする

**必須**

デバイスごとに LANSCOPE ク라이언트를インストールします。

ここでは、iOS 13 を例に説明します。OS バージョンにより、画面や手順が異なる場合があります。

**1. Safari で MDM 構成プロファイルのインストール URL にアクセスします。**

→ 確認ダイアログが表示されます。

**2. [許可] をタップします。**



**3. [閉じる] をタップします。**



4. [設定] アプリをタップし、[プロフィールがダウンロード済み] をタップします。

または、[設定] アプリの [一般] > [プロフィール] > [LANSCOPE Profile Service] をタップします。

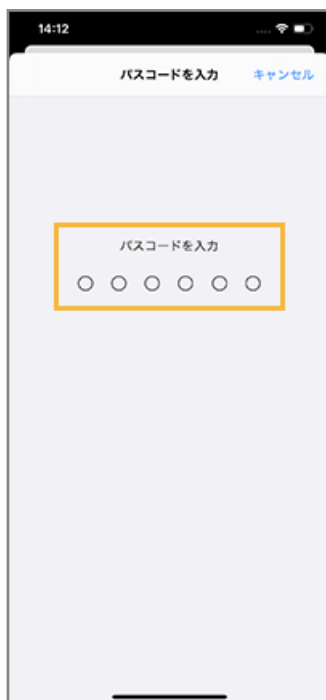


5. [インストール] をタップします。



6. デバイスに設定しているパスコードを入力します。

パスコードを設定していない場合は表示されません。



7. 【インストール】をタップします。



8. [インストール] をタップします。



9. [信頼] をタップします。



### 10. [完了] をタップします。



→ MDM 構成プロファイルのインストールが完了します。

### ポイント

MDM 構成プロファイルがインストールされると、[リスト] > [デバイス] のデバイス一覧に表示されます。

## 2-4 グループを設定する

デバイスの情報を編集するとき、グループを設定できます。設定するには、事前にグループを作成します。グループは5階層まで作成できます。

### ■ グループを手動で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2. 設定するデバイスグループの上位階層のデバイスグループをクリックし、[追加] をクリックします。



→ 選択した階層の下に「新しいデバイスグループ」が追加されます。

3. 「新しいデバイスグループ」をダブルクリックし、「デバイスグループ名」と「グループコード」を入力します。



**注意**

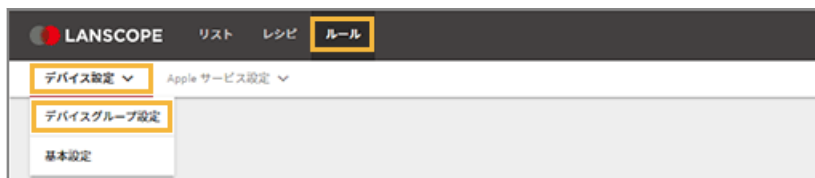
- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100文字以内です。



4. [保存] をクリックします。

■ グループを一括で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



→ CSV ファイルがエクスポートされます。

### 3. エクスポートしたファイルを編集し、インポートファイルを作成します。

- 「グループ名」「グループコード」「上位グループコード」を入力します。
- 「上位グループコード」が未記入の場合、1 階層目に設定されます。

#### 注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100 文字以内です。

### 4. をクリックし、[インポート] をクリックします。



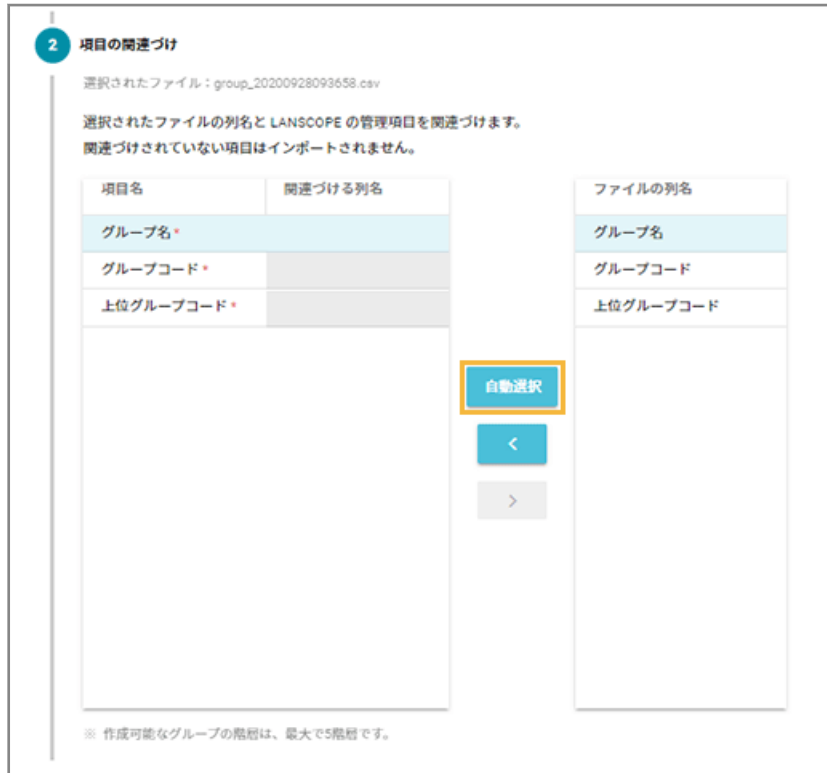
5. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

- (3) インポートファイルに記載されていないグループを管理コンソールから削除する場合は、チェックします。



- (4) [インポート] をクリックします。

→ インポートが完了します。

6. 内容を確認し、[保存] をクリックします。



## 2-5 管理対象デバイスの情報を編集する

「デバイス管理名」と「使用者名」を、デバイスを特定できる名前に編集します。

### ポイント

管理コンソール上で特定デバイスを表示する場合、おもに「デバイス管理名」と「使用者名」を利用します。そのため、「デバイス管理名」と「使用者名」は、デバイスを特定できる値での登録をおすすめします。

MDM 構成プロファイルをインストールすると、自動で「デバイス管理名」が登録されます。

iOS デバイスは、機種によって次のように登録されます。

- iPhone 「iPhone」
- iPad 「iPad」
- iPod touch 「iPad」

### ■ デバイス情報を 1 台ずつ編集する

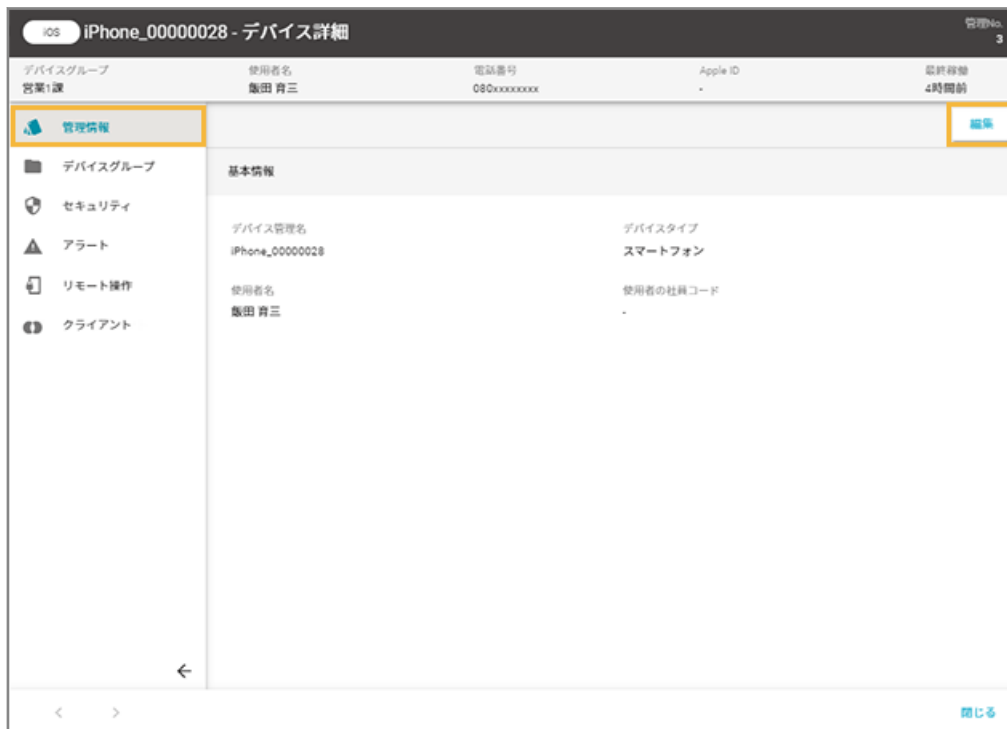
#### 1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



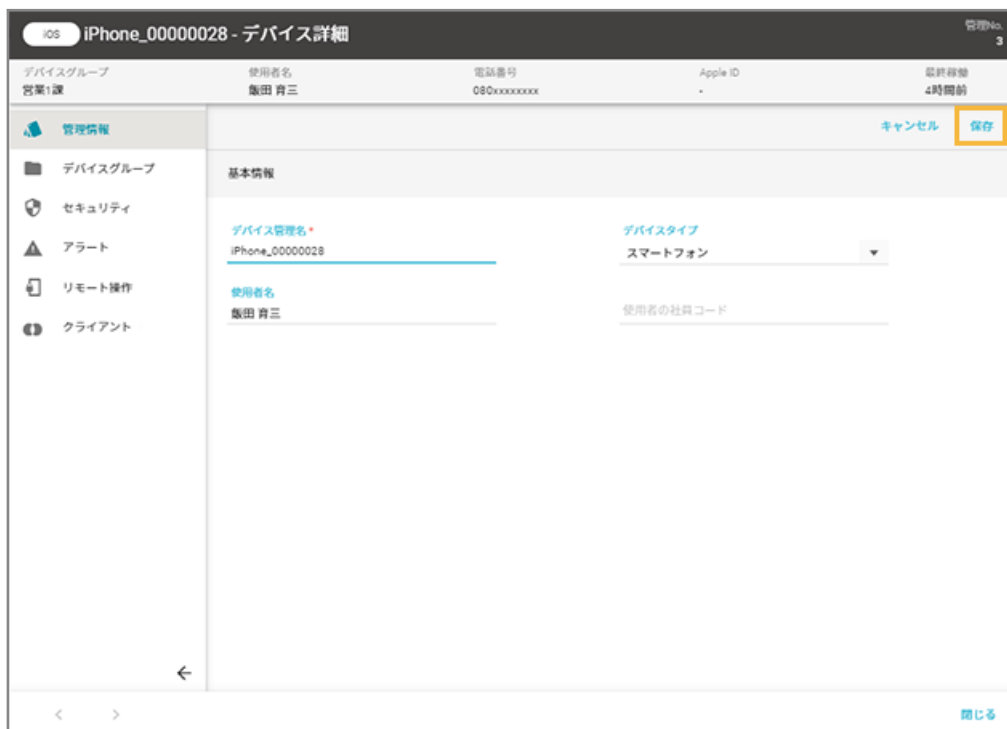
#### 2. デバイスをクリックします。

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイスタイプ	
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 貞由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_aapoustjp_00000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_000000030	佐藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン

3. 【管理情報】の【編集】をクリックします。



4. 内容を編集し、【保存】をクリックします。



■ デバイス情報を一括で編集する

デバイス情報をエクスポートし、CSV ファイルを編集して、インポートできます。

ステップ：

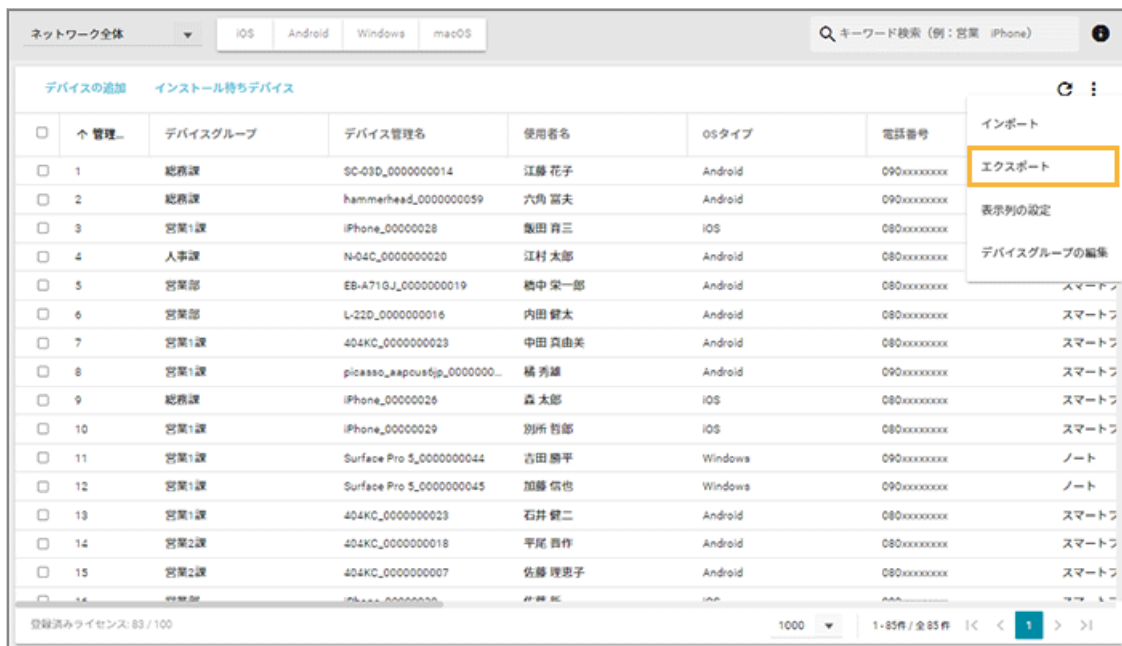
1. [デバイス情報をエクスポートする](#)
2. [エクスポートしたファイルを編集する](#)
3. [編集したデバイス情報をインポートする](#)

ステップ 1： デバイス情報をエクスポートする

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



3. 管理コンソールに記載の手順に従って設定し、[ダウンロード] をクリックします。





### ポイント

エクスポートする項目で、共通の「管理 No.」とデバイス情報の「OS タイプ」は、インポート時にデバイスを紐づけるため、必須項目としてあらかじめチェックされています。

→ CSV ファイルがエクスポートされます。

#### 4. [閉じる] をクリックします。

## ステップ 2： エクスポートしたファイルを編集する

### ポイント

- インポートできるデバイス情報は、「管理情報」と「デバイスグループ」の項目です。
- 「デバイスグループ階層 1」には、ネットワーク全体配下のデバイスグループを入力してください。「デバイスグループ階層 1」が未入力の場合は、自動的にネットワーク全体になります。

**注意**

- 「管理 No.」と「OS タイプ」は、インポート時にデバイスの紐づけが必要なため、編集しないでください。
- 項目によっては入力値に制限があります。制限値以外の入力がある場合、インポートに失敗します。

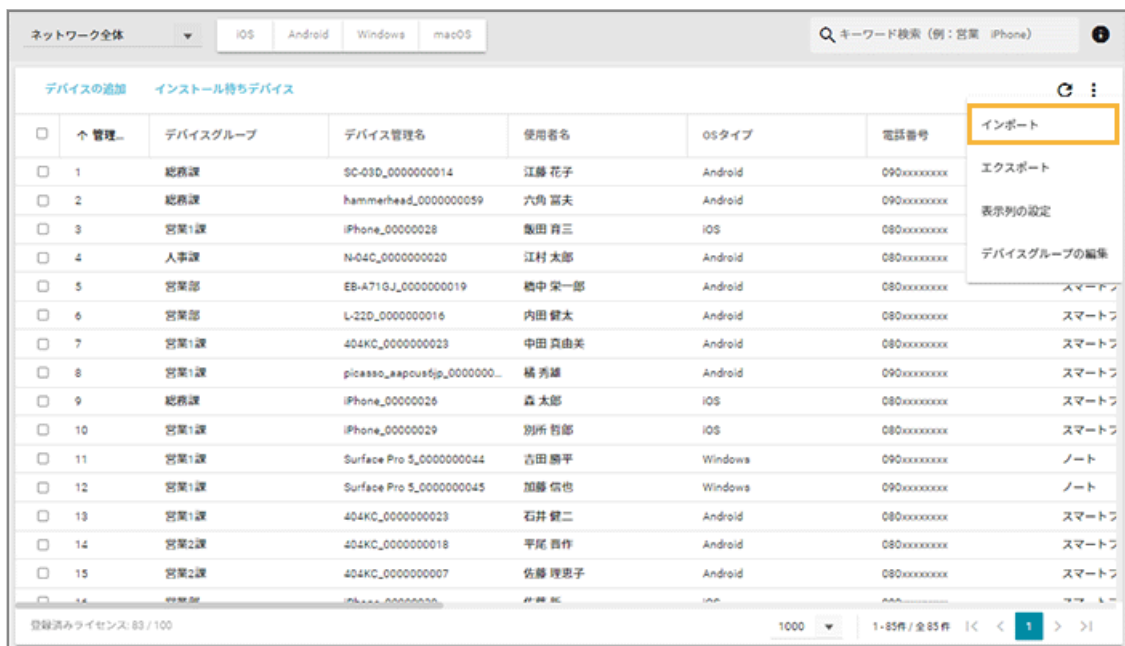
1. 各デバイスの情報を編集し、上書き保存します。

ステップ 3： 編集したデバイス情報をインポートする

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2.  をクリックし、[インポート] をクリックします。



3. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、編集したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

(3) プレビューを確認し、[インポート] をクリックします。

プレビュー

管理No.	OSタイプ	デバイス管理名	デバイ
32	WINDOWS	Surface 3_0000000056	LAPTC
31	WINDOWS	Surface 3_0000000057	LAPTC
30	ANDROID	404KC_0000000029	MOBIL
29	MAC	MacBook_0000000064	DESKT
28	MAC	MacBook_0000000066	DESKT

[インポート](#)

→ 「インポート完了」画面が表示されます。

インポートが完了しました。

インポート件数： ■件

※ データが反映されるまでに少しお時間がかかる場合があります。

[デバイス一覧](#)

[インポートに戻る](#)

[デバイス一覧] をクリックすると、インポートしたデータを確認できます。

## 第3章 カスタムインストール

カスタムインストール（デバイスごとに異なるインストール URL）を利用し、LANSCOPE クライアントをインストールします。

1. **3-1 MDM 証明書を登録する** 必須

iOS/macOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書をエンドポイントマネージャー Free に登録します。

2. **3-2 グループを設定する**

事前にグループ設定をしておくこと、設定したグループの配下に LANSCOPE クライアントをインストールしたデバイスが配置されます。

3. **3-3 管理対象デバイスの情報を登録する**

デバイスを紐づけるための情報を登録します。

4. **3-4 インストール手順と URL を確認する** 必須

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

5. **3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする** 必須

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

## 3-1 MDM 証明書を登録する

**必須**

iOS/macOS デバイスの管理に必要な MDM 証明書をエンドポイントマネージャー Free に登録します。

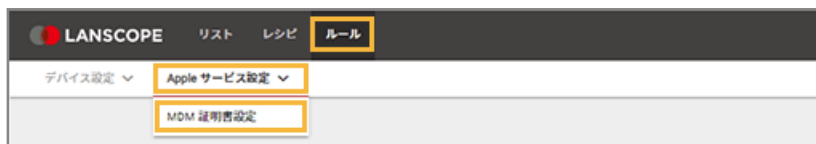
MDM 証明書の有効期限は登録から 1 年で、毎年更新が必要です。

事前に、MDM 証明書をダウンロードするために必要な Apple ID を準備します。

**注意**

MDM 証明書を更新するときにも同じ Apple ID を使用するため、Apple ID を紛失しないように注意してください。紛失などで Apple ID がわからなくなった場合、デバイスに LANSCOPE クライアントの入れ直しが必要になります。

1. **【ルール】の【Apple サービス設定】 > 【MDM 証明書設定】 をクリックします。**



2. **【MDM 証明書の登録】 をクリックします。**



3. **管理コンソールに記載の手順に従って、MDM 証明書を登録します。**

**MDM 証明書の登録・更新**

MDM 証明書は、iOS デバイス または Mac デバイスを LANSCOPE で管理するために必要となる証明書です。  
MDM 証明書の有効期限は登録から 1 年で、毎年更新が必要です。

**注意事項**  
Apple ID を紛失して MDM 証明書を更新できなくなった場合は、新しい MDM 証明書を登録し、各デバイスに MDM 構成プロファイルを再インストールする必要があります。

- 1

**CSR ファイルのダウンロード**

ベンダー署名付き CSR ファイルをダウンロードします。  
追加でベンダー署名付き CSR ファイルが必要な場合は、MDM 証明書を保存したあとにダウンロードしてください。

ダウンロード
- 2

**MDM 証明書ファイルの作成 および ダウンロード**

手順 1 でダウンロードしたベンダー署名付き CSR ファイルを使用し、Apple 管理サイト Apple Push Certificates Portal にて MDM 証明書を作成 および ダウンロードします。

[Apple Push Certificates Portal](#) 🔗

Apple Push Certificates Portal でのダウンロード手順はこちらをご確認ください。  
[マニュアル](#) 🔗
- 3

**MDM 証明書ファイルのアップロード**

手順 2 でダウンロードした MDM 証明書をアップロードします。  
ファイルの読み込みが完了すると、有効期限が表示されます。

ファイル選択
- 4

**有効期限通知メールの設定**

有効期限が切れる前にメールで通知する

計 4 回 (期日の 30 日前 / 7 日前 / 前日 / 当日) 設定したメールアドレス宛に送信されます。  
(送信元アドレス: an\_report2@LANSCOPE.onmicrosoft.com)

通知先メールアドレス \*

[メールアドレス]

テスト送信
- 5

**Apple ID や電話番号などの設定**

MDM 証明書を更新するには、登録時に使用した Apple ID が必要です。  
Apple ID や 2 ファクタ認証で使用している電話番号など、メモしておくことをおすすめします。

例) Apple ID : sample@motex.co.jp    電話番号 : 09012345678

メモ

Apple ID : sample@motex.co.jp    パスワード : sample123

閉じる    保存

4. [保存] をクリックします。

→ MDM 証明書の登録が完了します。

## 3-2 グループを設定する

事前にグループ設定をしておくことで、設定したグループの配下に LANSCOPE クライアントをインストールしたデバイスが配置されます。

グループは5階層まで作成できます。

設定方法は次のとおりです。

### ■ グループを手動で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2. 設定するデバイスグループの上位階層のデバイスグループをクリックし、[追加] をクリックします。



→ 選択した階層の下に「新しいデバイスグループ」が追加されます。

3. 「新しいデバイスグループ」をダブルクリックし、「デバイスグループ名」と「グループコード」を入力します。



**注意**

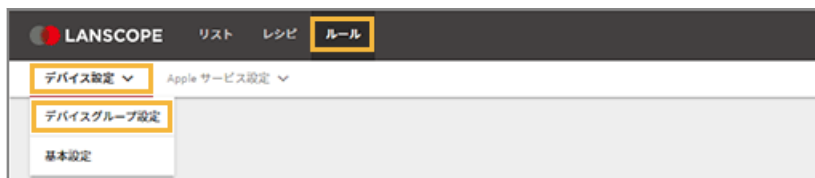
- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100文字以内です。



4. [保存] をクリックします。

■ グループを一括で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



→ CSV ファイルがエクスポートされます。

### 3. エクスポートしたファイルを編集し、インポートファイルを作成します。

- 「グループ名」「グループコード」「上位グループコード」を入力します。
- 「上位グループコード」が未記入の場合、1 階層目に設定されます。

#### 注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100 文字以内です。

### 4. をクリックし、[インポート] をクリックします。



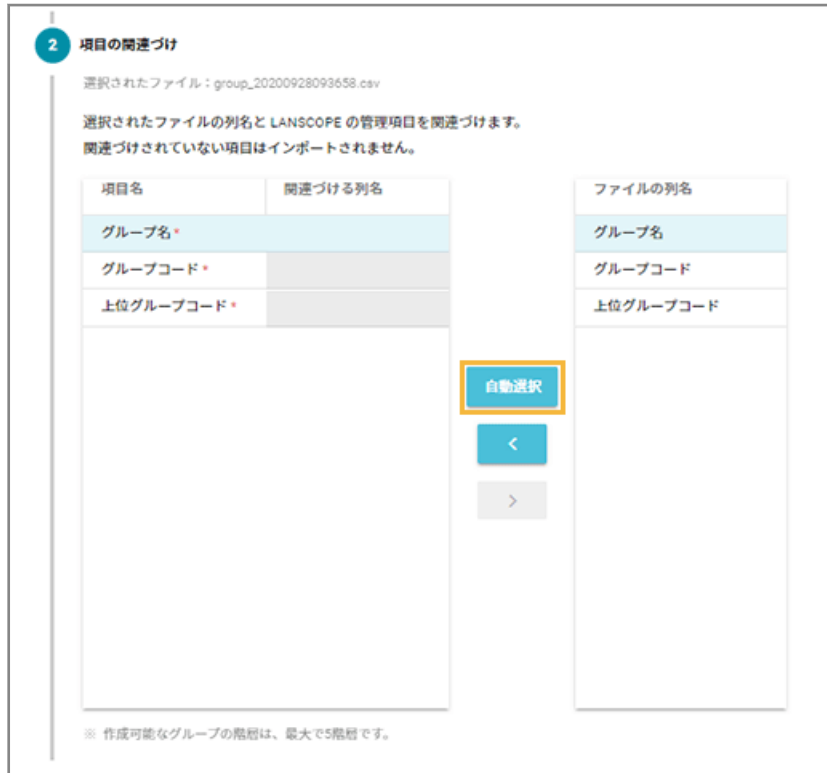
5. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

- (3) インポートファイルに記載されていないグループを管理コンソールから削除する場合は、チェックします。



- (4) [インポート] をクリックします。

→ インポートが完了します。

6. 内容を確認し、[保存] をクリックします。



## 3-3 管理対象デバイスの情報を登録する

デバイスを紐づけるための情報を登録します。

### ■ デバイス情報を1台ずつ追加する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [デバイスの追加] をクリックします。

<input type="checkbox"/>	↑ 管理...	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイスタ...
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_000000028	園田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_aapoustjp_0000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...

3. [カスタムインストール] をクリックします。



4. デバイスの情報を入力し、[追加] をクリックします。

項目	値
OS タイプ	対象デバイスの OS
デバイスグループ	所属するデバイスグループ 事前に設定しておいたグループを指定します。
デバイス管理名	デバイスを特定できる任意のデバイス管理名
使用者名	デバイスを特定できる任意の使用者名
送信先メールアドレス	デバイスのメールアドレス 管理コンソールからインストールの手順と URL をデバイスにメール通知するときが必要です。

表示される内容は OS タイプによって異なります。

管理対象デバイスの情報追加

一台ずつ追加 一括インポート追加

カスタムインストール手順は以下をご確認ください。

iOS Android Windows macOS

デバイス情報を追加します。

OSタイプ  
 iOS  Android  Windows  macOS

デバイスグループ  
ネットワーク全体

デバイス管理名  
MO 太郎

使用者名

使用者の社員コード

デバイスタイプ  
スマートフォン

送信先メールアドレス

キャンセル 追加

→ 「登録が完了しました。」と表示されたら、デバイスの追加が完了します。

管理対象デバイスの情報追加

一台ずつ追加 一括インポート追加

カスタムインストール手順は以下をご確認ください。

iOS Android Windows macOS

登録が完了しました。

デバイス管理名：MO 太郎  
インストール待ちデバイスとして追加されました。

※ データが反映されるまでに少しお時間がかかる場合があります。

インストール待ちデバイス一覧

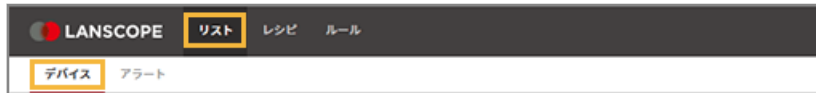
続けて登録

続けて追加する場合は、[続けて登録] をクリックします。[インストール待ちデバイス一覧] をクリックすると、追加したデバイスの情報を確認できます。

## ■ デバイス情報を一括で追加する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。





2. [デバイスの追加] をクリックします。

ネットワーク全体 | iOS | Android | Windows | macOS | キーワード検索 (例: 営業 iPhone)

デバイスの追加 | インストール待ちデバイス

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用人名	OSタイプ	電話番号	デバイス	
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_aapoustjp_0000000...	横 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 3_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_000000030	伊藤 隆	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ

登録済みライセンス: 83 / 100 | 1000 | 1-85件 / 全 85 件 | 1 > >>

3. [カスタムインストール] をクリックします。

← デバイス追加

LANSCOPE で管理したいデバイスを追加する

LANSCOPE クライアントのインストール方法を以下より選択してください。

**かんたんインストール**

すべてのデバイスに同じ URL を用いて、LANSCOPE クライアントをインストールします。

**主な利用シーン**

- 管理者がまとめてインストールする場合
- 各デバイスを使用する人や部署が決まっていない場合

**カスタムインストール**

デバイスごとに異なる URL (登録キー) を用いて、LANSCOPE クライアントをインストールします。インストールが完了すると事前に登録した情報とデバイスが結びます。

**主な利用シーン**

- デバイス使用者にインストールしてもらった場合
- 各デバイスを使用する人や部署が決まっている場合

4. [一括インポート追加] をクリックします。



5. インポートデータ（CSV ファイル）を作成します。



- (1) [テンプレートのダウンロード] をクリックし、[Shift-JIS] または [UTF-8] をクリックします。

→ 選択したエンコードでインポートデータのひな型がダウンロードされます。

- (2) CSV ファイルを編集します。

項目	値
OS タイプ	対象デバイスの OS
デバイス管理名	デバイスを特定できる任意のデバイス管理名
送信先メールアドレス	デバイスのメールアドレス 管理コンソールからインストールの手順と URL をデバイスにメール通知するときに必要です。
デバイスグループ階層 1~5	所属するデバイスグループ 事前に設定しておいたグループを指定します。
使用者名	デバイスを特定できる任意の使用者名

詳細は、[インポートデータの作成方法] をクリックしてください。

6. [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



7. [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

8. プレビューを確認し、[インポート] をクリックします。



→ 「インポートが完了しました。」と表示されたら、デバイスの追加が完了します。



[インストール待ちデバイス一覧] をクリックすると、追加したデバイスの情報を確認できます。

## 3-4 インストール手順と URL を確認する

**必須**

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

ステップ：

1. [インストール手順と URL を確認する](#)
2. [メールで通知する](#)

### ステップ 1： インストール手順と URL を確認する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [インストール待ちデバイス] をクリックします。

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイスステータス
<input type="checkbox"/>	総務課	SC-09D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	iPhone_0000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	picasso_aapoustjp_00000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	総務課	iPhone_0000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	iPhone_0000000029	別所 有郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 磨平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	iPhone_0000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン

→ 管理対象デバイスの情報を追加したあと、MDM 構成プロファイルがインストールされていないデバイスが表示されます。

3. 対象デバイスをクリックします。

インストール待ちデバイス

ネットワーク全体 ▼ iOS Android Windows macOS

キーワード検索 (例: 営業 iPhone)

<input type="checkbox"/>	↑ 管理	OSタイプ	デバイスグループ	デバイス管理名	送信先メールアドレス	送信日時	使用者の結
<input type="checkbox"/>	59	Windows	ネットワーク全体	Surface_3_0000000054	ai.yamamoto@mot.co.jp		
<input type="checkbox"/>	60	iOS	ネットワーク全体	iPhone_0000000034	ken.yoshida@mot.co.jp		
<input type="checkbox"/>	61	Android	ネットワーク全体	F11_0000000009	taro.tanaka@mot.co.jp		
<input type="checkbox"/>	62	macOS	ネットワーク全体	MacBook_0000000060	aki.ito@mot.co.jp		

20 1-4件 / 全4件 < 1 >

#### 4. 手順とインストール URL を確認します。

対象デバイスに応じて、内容が切り替わります。

iOS iPhone\_0000000034 - デバイス詳細

デバイスグループ: ネットワーク全体

送信先メールアドレス: ken.yoshida@mot.co.jp

送信日時: .

インストール

管理情報

デバイスグループ

送信先メールアドレス: ken.yoshida@mot.co.jp

インストール手順を送信する

1 MDM 構成プロファイルをインストール

Safariより以下 URL にアクセスして、MDM 構成プロファイルをインストールします。

MDM 構成プロファイルインストール URL



<https://m.ios.clients.lanscopean-orange.com>

URLをコピー

※ インストール時、デバイスにパスワードを設定している場合、パスワードが求められます。  
 ※ プロファイルでSafariを禁止している場合、MDM 構成プロファイルをインストールできません。  
 Safariを禁止する運用にしたい場合は、インストール後にSafariを禁止してください。

登録完了

インストールが完了すると LANSCOPE でデバイスを管理できるようになります。  
 ※ インストール完了後、反映まで時間がかかる場合があります。

デバイス一覧

戻る

< > をクリックすると、前後のデバイス情報に切り替わります。

管理者が LANSCOPE クライアントをインストールするなど、手元にデバイスがある場合は、画面に表示されている QR コードを読み取ってアクセスできます。

## ステップ 2： メールで通知する

各デバイスにインストール手順と、インストールに必要な URL をメールで通知します。

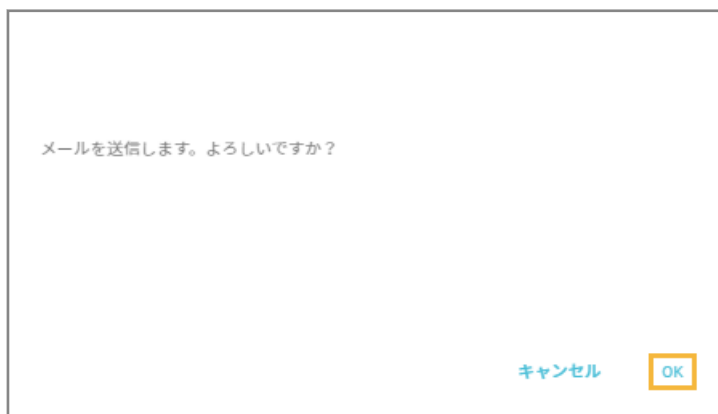
### 1 台ずつ通知する

1. **【インストール手順を送信する】をクリックします。**



→ 確認ダイアログが表示されます。

2. **【OK】をクリックします。**



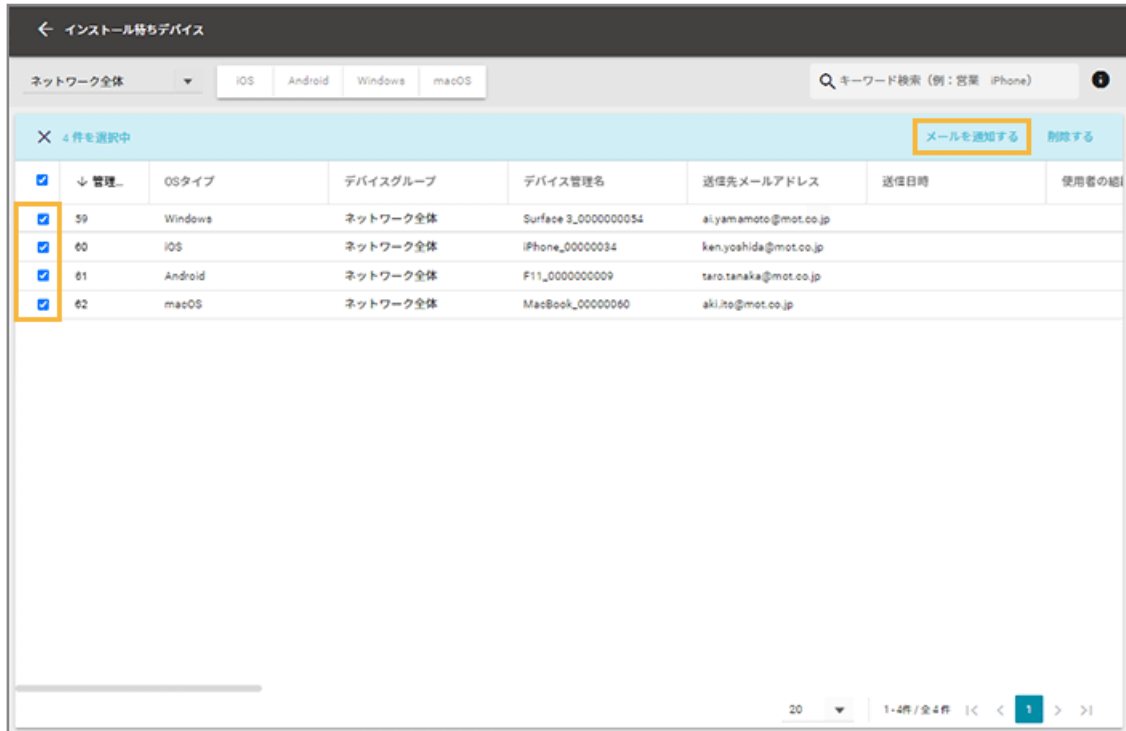
### 一括で通知する

複数デバイスに一括でメールを通知します。

1. **「デバイス詳細」画面を閉じます。**

→ 「インストール待ちデバイス」画面に戻ります。

2. **デバイスをチェックし、【メールを通知する】をクリックします。**



→ 確認ダイアログが表示されます。

3. [OK] をクリックします。





## 3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする

**必須**

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

**注意**

- カスタムインストールは、デバイスごとに専用の URL を利用します。そのため、一度 MDM 構成プロファイルをインストールした URL を利用して、再度インストールできません。
- MDM 構成プロファイルをインストールする前に、「インストール待ちデバイス」画面からデバイス情報を削除した場合、削除したデバイス情報の URL は利用できません。

ここでは、iOS 13 を例に説明します。OS バージョンにより、画面や手順が異なる場合があります。

**1. Safari で MDM 構成プロファイルのインストール URL にアクセスします。**

→ 確認ダイアログが表示されます。

**2. [許可] をタップします。**



**3. [閉じる] をタップします。**



4. [設定] アプリをタップし、[プロフィールがダウンロード済み] をタップします。

または、[設定] アプリの [一般] > [プロフィール] > [LANSCOPE Profile Service] をタップします。

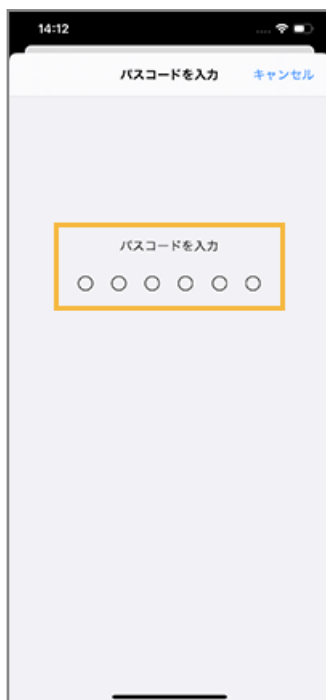


5. [インストール] をタップします。



6. デバイスに設定しているパスコードを入力します。

パスコードを設定していない場合は表示されません。



7. 【インストール】をタップします。



8. [インストール] をタップします。



9. [信頼] をタップします。



### 10. [完了] をタップします。



→ MDM 構成プロファイルのインストールが完了します。

### ポイント

MDM 構成プロファイルがインストールされると、[リスト] > [デバイス] のデバイス一覧に表示されます。

## こんなときは

- [機種変更などでデバイスが変更になった場合](#)

機種変更などでデバイスが変更となる場合の対応方法について説明します。

- [トラブルシューティング](#)

トラブル発生時の対応方法について説明します。

## 機種変更などでデバイスが変更になった場合

機種変更などでデバイスが変更となる場合の対応方法について説明します。

### ステップ：

1. [古いデバイスの情報を削除する](#)
2. [古いデバイスから LANSCOPE クライアントをアンインストールする](#)
3. [新しいデバイスを登録する](#)

### ステップ 1： 古いデバイスの情報を削除する

ライセンスに余剰がない場合、古いデバイスの情報を削除し、ライセンスを確保します。余剰ライセンスがある場合は、デバイス情報を削除せずに新しいデバイスを登録できます。

デバイス情報の削除方法については、An-345「Free 利用ガイド」を参照してください。

### ステップ 2： 古いデバイスから LANSCOPE クライアントをアンインストールする

アンインストール方法については、An-337「Free アンインストールガイド」を参照してください。

### ステップ 3： 新しいデバイスを登録する

本ガイドを参照し、新しいデバイスに LANSCOPE クライアントをインストールして登録します。

## トラブルシューティング

トラブル発生時の対応方法について説明します。

### MDM 構成プロファイルインストール時のエラー

エラーメッセージ	補足	対応方法
URL が正しくありません。管理者までご連絡ください。	—	URL に誤りがないかを確認してください。
プロファイルをインストールできませんでした。	無効なプロファイル	<p>次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録設定に誤りがないか</li> <li>カスタムインストールの場合、すでに他のデバイスが同じ URL で登録されていないか</li> <li>残りライセンスが「0」になっていないか</li> <li>体験版環境など、他のエンドポイントマネージャー Free 環境に該当デバイスの情報が残っていないか</li> </ul>
	SCEP サーバは無効な応答を返しました。	弊社までお問い合わせください。
	プロファイルのインストールに失敗しました。	<p>次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録設定に誤りがないか</li> <li>カスタムインストールの場合、すでに他のデバイスが同じ URL で登録されていないか</li> <li>残りライセンスが「0」になっていないか</li> </ul>
	サーバーへの接続を確立できませんでした。	<p>次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カスタムインストールの場合、すでに他のデバイスが同じ URL で登録されていないか</li> <li>体験版環境など、他のエンドポイントマネージャー Free 環境に該当デバイスの情報が残っていないか</li> </ul>



エラーメッセージ	補足	対応方法
プロファイルのインストールに失敗しました。	プロファイル“LANSCOPE for iOS”をインストールできませんでした。	再度登録してください。
	“モバイルデバイス管理”はインストール済みです。	デバイスに他の MDM 機能を持つ構成プロファイルがインストールされている可能性があります。構成プロファイルを削除してから再度登録してください。
ダウンロードの失敗	エラーコード:102	MDM 構成プロファイルのインストール URL に、Safari 以外の Web ブラウザーでアクセスしている可能性があります。Safari でアクセスし直してください。
リモートマネジメント お使いの iPhone の構成を会社名からダウンロードできませんでした。	無効なプロファイルです。	弊社までお問い合わせください。
不正なプロファイル	このプロファイルは壊れていて読み込めませんでした。	弊社までお問い合わせください。

#### LANSCOPE Client 登録時のエラー

エラーメッセージ	補足	対応方法
登録に失敗しました。	デバイスが管理コンソールから削除されている可能性があります。	[リスト] > [デバイス] で、デバイスの有無を確認してください。デバイスが存在しない場合は、MDM 構成プロファイルをアンインストールし、再度インストールして、ホーム画面の [LANSCOPE Client] をタップしてください。登録用 Clip をインストールしている場合は [登録用 Clip] をタップしてください。
サーバとの通信が確立できませんでした。デバイスの通信状態を確認してください。	通信環境が不安定になっている可能性があります。	通信環境を確認し、再度ホーム画面の [LANSCOPE Client] をタップしてください。登録用 Clip をインストールしている場合は [登録用 Clip] をタップしてください。
ページを開けません。アドレスが無効です。	デバイスに LANSCOPE Client がインストールされていない可能性があります。	LANSCOPE Client をインストールし、ホーム画面の [LANSCOPE Client] をタップしてください。登録用 Clip をインストールしている場合は [登録用 Clip] をタップしてください。

エラーメッセージ	補足	対応方法
登録用 Clip から起動してください。	LANSCOPE Client を登録するには、登録用 Clip をタップする必要があります。	<p>ホーム画面の [登録用 Clip] をタップしてください。</p> <p>ホーム画面に [登録用 Clip] が表示されていない場合は、管理コンソールから登録用 Clip を配信してください。</p>

**MOTEX**

© MOTEX Inc.